第127号 2007年2月1日

# 大和木材株式会社

〒891-1104 鹿児島市油須木町 1299-1 番地 Tel 099-245-7048 Fax 099-245-7058 URL; http://www.synapse.ne.jp/~yamato-kk/ E メール; yamato-kk@po.synapse.ne.jp

# トレーサビリティ!

最近、「トレーサビリティ」という言葉を良く聞きますが、どういうことなのでしょう? 「認証かごしま材」や「合法材」などいろいろと面倒な証明を要求されるようになってきましたが、生産履歴をはっきりさせようという事です。野菜や食肉などで、どこで育ち、どんな餌や肥料を与えられていたか、どんな流通経路を経てきたか等の情報がわかるようになってきた事と同じような事です。

新月伐採(既報 109 号)で有名な静岡県の榊原商店は年間 7~8,000 ㎡の丸太を生産されているそうですが、この榊原商店を中心にした「 $T \cdot S \cdot DRY$ 」というグループでは、伐採される時、山林の所有者、番地、経度、緯度、標高、その日の天候、気温、大きさ(径級・樹高・枝下・樹皮概観)、伐採時刻、倒木方向等を記録した管理ナンバー付したバーコードを 1本 1本の木口にホチキスで留めておくそうです。最低 3 ヶ月、葉枯らしした後、玉切り、貯木場へ運び、全ての丸太に乾燥期間までのデータをラベリングする。そして、出荷時に出荷日、出荷先を記録しておくそうです。製材工場では何時・何に製材し、天然乾燥後、何時。どこに(建設会社・施主)出荷したかを記録しておくそうです。さらに工務店では何所にどの梁に使ったという事まで分るようにしているそうです。

これに比べると「認証かごしま材」や「合法制」の証明など、まだまだ簡単ですね。

### 【情報】

#### 鹿児島県木造住宅推進協議会講習会

演題 古民家をモダンに再生する 平井 憲一 氏

日時 平成19年2月6日(火) PM1:30~3:40

場所 黎明館 2F

問合先 鹿児島県住宅・建築総合センター (Tm 099-224-4543)

#### KWF講演会及び新生産システムに係る地域研修

演題 「スギの魅力を活用しよう」 岐阜大学応用生物科学部 棚橋 光彦 教授

問合先 かごしまウッディテック・フォーラム (Tm099-285-8701)

演題 「日本林業再生の道と南九州における木材産業の動向」 鹿児島大学農学部 遠藤 日雄 教授

問合先 鹿児島県林材協会連合会 (16099-260-3536)

日時 平成 19 年 2 月 20 日(火) AM10:50~12:00 PM1:30~4:00

場所 かごしま県民交流センター 4F 大研修室

## KWF講演会

演題 「スギの利用技術」 鹿児島県工業技術センター 山角 達也 部長

演題 「スギ合板の現状と今後」 新鋭合板㈱ 松元 孝守 社長

日時 平成 19 年 3 月 1 日(木) PM1:30~4:00

場所 かごしま県民交流センター3F大研修室

#### 【定休日】

2月は4,10,11,17,18,24,25日となります 3月は3,4,10,11,17,18,24,25日となります ご協力お願いします。



(お問い合わせは、お客様サービス係の東野まで)